

子どもの病気・事故

子どもの病気ワンポイントアドバイス

発熱

38度以上の発熱で…

- ☐ 生後3か月未満
- ☐ 元気がなく、ぐったりしている
- ☐ 無表情で活気がない
- ☐ 一日中ウトウトしている
- ☐ 水分をとるのを嫌がり、おしっこが出ない
- ☐ 顔色が悪く、呼吸が苦しそう
- ☐ 生まれて初めてけいれんがあった

上記の項目のうち「はい」が1つでもあれば
すぐにお医者さんへ

- ☐ 左の症状がない

診療時間にお医者さんへ

- ☐ 室温が高すぎたり、
厚着をしている時、
薄着にして平熱になるなら

心配ありません

<熱が出たときの手当の仕方>

- 熱が高いときは、嫌がらなければ頭部やわきの下などを冷やし、気分をやわらげる。
- 部屋の温度と湿度を快適にし、汗をかかないようにして体力の消耗を防ぐ。
- 食欲のないときは、アイスクリーム、ヨーグルト、牛乳やスープなど
栄養価の高い食べ物を工夫して少しずつ与える。
- 体温は朝昼夜など1日3回ほど定期的に測定し、平熱に落ち着くまでは外出を避ける。



下痢

- ☐ 元気がなく、ぐったりしている
- ☐ 便に血が混じる
- ☐ 活気がなく、だるそうにしている
- ☐ よく眠れず、ウトウトしている
- ☐ ちょっとした刺激に過敏に反応する
- ☐ 水分をとるのを嫌がり、
おしっこが出ない
- ☐ 目がくぼんでいる
- ☐ くちびるや舌が乾燥している

上記の項目のうち「はい」が
1つでもあれば
すぐにお医者さんへ

- ☐ 普段の半分くらいの水分がと
れている
- ☐ 左の症状がない

診療時間にお医者さんへ

- ☐ 離乳食を開始し、新しい
食品を食べさせた
- ☐ 機嫌はよい

心配ありません

<下痢になったときの手当の仕方>

- おむつは汚れたらすぐに取り替え、お尻をいつも清潔にしておく。
- 市販の下痢止めを勝手に使わず、医師の診療を受ける。
- 経口補水液などを少量でも頻回に与えて脱水症状などを防ぐ。



嘔吐

- ☐ 続けて何回も吐く
- ☐ 便に血が混じる
- ☐ お腹がはっている
- ☐ お腹を押すと強く痛がる
- ☐ 血液や緑色の液体を吐いた
- ☐ 元気がない
- ☐ いつもと違う様子である
- ☐ 頭を強く痛がる
- ☐ おしっこが出ない
- ☐ くちびるが乾いている
- ☐ ボーッとしていたり、ちょっとした刺激に過敏に反応したりする

上記の項目のうち「はい」が1つでもあれば
すぐにお医者さんへ

- ☐ 左の症状がない

診療時間にお医者さんへ



せき

- ☐ 声がかすれる
オットセイの鳴き声みたいにせき込む
- ☐ ゼーゼー・ヒューヒューいう
- ☐ 息苦しそうである ☐ 39度以上の高熱がある
- ☐ 呼吸がはやい ☐ ぐったりしている
- ☐ 水分をとりたがらない
- ☐ 口の周りや顔色が悪い

上記の項目のうち「はい」が1つでもあれば
すぐにお医者さんへ

- ☐ 左の症状がない

診療時間にお医者さんへ

<せきが出たときの手当の仕方>

- 加湿器などで鼻の粘膜を湿らせる。
- 家の中でタバコを吸わない。



発疹

- ☐ かゆみがあり、さらに顔やくちびるがはれぼったくなった
- ☐ 息苦しく声がかすれてきた
- ☐ 薬を飲んだ後に発疹が出てきた
- ☐ もりあがったリング状のはれがたくさん出てきた
- ☐ 発熱があり、機嫌が悪く、目が赤い、くちびるが赤い
- ☐ 暗い紫色の小さな点々が膝から下に出ている
- ☐ 鼻血があったり、関節を痛がったりする

上記の項目のうち「はい」が1つでもあれば
すぐにお医者さんへ

- ☐ 左の症状がない

診療時間にお医者さんへ

<発疹が出たときの手当の仕方>

- かゆみがあるときは、温めたり引っかいたりしないようにする。
- かゆみがひどいときは、かゆみ止めをぬる。



頭を打った

- 頭をぶつけた後で次の症状が1つでもあればすぐに119番へ
- ☐ 呼びかけても反応が悪い
- ☐ けいれんを起こした

救急車を呼ぶ

<頭を打ったときの手当の仕方>

- 頭から血が出ているときは、出血している部分をきれいなタオルやガーゼでしっかりと圧迫する。
- コブができているときは、はれている部分を20分ほど冷やす。
- 当日は外出や入浴をやめて、その後も2～3日間は顔色や歩き方など、いつもと違った様子がないか観察する。

左記の症状がなくても次の項目のうち「はい」が1つでもあればすぐに病院へ

- ☐ 手足の動きがいつもとちがう
- ☐ 顔色が明らかに悪い ☐ 何回も吐く

すぐに病院へ

脳神経外科のある病院が望ましい。
分からなければ救急医療情報センターに聞く。

(TEL 54-1133)



事故予防

子どもの事故は意外と多いものです。
どんな事故が起こりやすいかを知って未然に防ぎましょう。

●月齢・年齢別で見る起こりやすい事故●

気を付けて!!

車の中に子どもだけを残さない!
子どもの前でタバコを吸わない!

月齢・年齢	起こりやすい事故	事故の主な原因(対策)
新生児	周囲の不注意によるもの	誤って上からものを落とす
		上の子が抱き上げてけがをさせたり、物を食べさせる
1～6か月	転落	ベッドなどから落ちる(転落防止柵などを付ける)
	窒息	タオル、ふとんが顔にかかる(ふとんは硬めの物を選び、うつ伏せ寝はしない)
	誤飲・中毒	誤飲で多いもの: たばこ・医薬品・化粧品・洗剤など
7～12か月	転落・転倒	扉、階段、ベッド
	やけど	アイロン、ポットのお湯、ストーブにさわる
	溺水	浴槽、洗濯機に落ちる(残し湯をしない、ふたをしておく)
	誤飲・中毒	タバコ、引き出しの中の薬、化粧品、コイン、豆など
	車中のけが	座席からの転落(チャイルドシートの着用)
1～4歳	誤飲	原因の範囲が広がる あらゆるものが原因になる
	転落・転倒	階段、ベランダ(踏み台になるものを置かない)
	やけど	熱い鍋に触れる、テーブルクロスを引いて湯をこぼす
		熱いシャワーのいたずら
	溺水	浴槽に落ちる、水遊び(10cmでも溺れる)
	交通事故	飛び出し事故、チャイルドシートの誤った着用(手をつないで歩くようにする)

「子どもの病気 ワンポイントアドバイス」(愛知県、平成27年9月)監修/愛知県小児科医会 から引用しています。

小児救急の上手なかかり方

かかりつけ医を持ちましょう

日頃から子どもの特徴や体質、病歴を知っているか
かかりつけ医を決めて、発熱や嘔吐など急病の時に
診察や相談できるようにしましょう。

休日・夜間に急病で受診する時

まず、かかりつけ医に相談しましょう。
かかりつけ医と連絡が取れない時は、救急医療情
報センターに相談してください。

受診する時に必要なもの

- 保険証 ●子ども医療受給者証(該当者)
- 母子健康手帳(乳幼児の場合)
- その他(使用中の薬、体温測定のコピーや
線形グラフ、気になるおしっこ、嘔吐物)

診療時間内に受診しましょう

診療には、医師、薬剤師、看護師、検査技師など多くの
スタッフが関わっています。スタッフがそろっている
診療時間内に受診できるよう早めに受診しまし
ょう。

救急医療情報

●救急車119番●

緊急だと思ったら、ためらわずに119番通報をしてください。

判断に迷う場合は、下記の救急医療情報を参照又は西尾市消防本部(TEL 56-2110)へお問い合わせください。

●西尾市休日診療所●

TEL 55-0800

住 所 熊味町小松島12
(西尾市保健センター西隣)

診療日時 日曜日、祝日、年末年始
(12月30日～1月3日)

・内科・小児科

受付時間 8:45～11:30/13:00～16:30

診療時間 9:00～12:00/13:00～17:00

・歯科

受付時間 8:45～11:30

診療時間 9:00～12:00

持 ち 物 健康保険証(又はマイナンバーカード)、医療費受給者証、診療費など

※障害者歯科診療所は診療日時等が異なります。詳しくは12ページをご覧ください。

●在宅当番医制●

広報にしおの休日診療案内をご覧ください。

診療日時 日曜日、祝日、年末年始(12月30日～1月3日)

診療時間 9:00～12:00/13:00～17:00

ホームページアドレス <https://www.city.nishio.aichi.jp/kenkofukushi/kenshin/1001450/1002474.html>

●小児救急のホームページの紹介●

◇日本小児科学会 こどもの救急…………… <http://kodomo-qq.jp/>

●愛知県の救急医療情報の紹介●

◇救急医療情報センター

24時間365日体制で、電話による医療機関の案内を行っています。TEL 54-1133

◇小児救急電話相談

相 談 日 毎日 時間 19:00～翌朝8:00

担 当 者 看護師(難しい事例は小児科医)

電話番号 #8000(短縮番号) TEL 052-962-9900(短縮番号が使えない場合)

◇あいち救急医療ガイド

ホームページアドレス <https://www.qq.pref.aichi.jp/>

◇愛知県小児科医会

ホームページアドレス <https://aichi-pediatric-ass.jp/>

◇中毒110番(一般専用電話 情報提供料:無料)

大 阪:TEL 072-727-2499(365日、24時間対応)

つくば:TEL 029-852-9999(365日、24時間対応)

◇タバコ誤飲事故専用電話(自動音声応答による一般向け情報提供 情報提供料:無料)

TEL 072-726-9922(365日24時間)



子どもの
病気・事故

●救急医療機関●

医療機関名	TEL	救急内容	
西尾病院	57-5138	第2次救急医療	入院または緊急手術を要する救急患者の医療を担当
西尾市民病院	56-3171		
碧南市民病院	0566-48-5050		
八千代病院	0566-97-8111		
安城更生病院	0566-75-2111	第3次救急医療	第2次救急まででは対応できない脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷その他特殊診療部門(熱傷、小児、中毒等)における重篤な救急患者の救命を担当